

(参考) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金) 事後評価書

平成29年3月24日

計画の名称	1 千葉県における総合的な津波・高潮・侵食対策の推進		
計画の期間	平成22年度～平成26年度 (5年間)	交付対象	千葉県
計画の目標	千葉県は三方を海に囲まれ、アワビ、サザエなどの漁業、信仰を伝える祭りや行事、海水浴やサーフィンなど県内外から多くの海岸利用が行われています。一方、九十九里浜をはじめ多くの海岸で侵食の進行、高潮による浸水被害、施設の老朽化などから施設の整備が必要となっています。これらのことから千葉県における総合的な津波・高潮・侵食対策を実施することにより、災害に強い県づくりを進めるとともに、安全・安心な県民生活の確保を図る。		

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水防護面積を650ha (H22) から950haに増加 ・侵食により減少した砂浜海岸を復活させる延長を0m (H22) から900mに増加 ・減少傾向にある海水浴入込客数948千人 (H22) を現状維持する。 		
-----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 施設が完成した背後地の浸水防護面積を算出する。 (浸水防護面積は全体計画の施設数量と実績数量との比例として算出)	650ha	825ha	950ha	
② 砂浜のある海岸線延長を計測する。 (砂浜のある海岸線延長は全体計画の養浜土量と実績数量との比例として算出)	0m	540m	900m	
③ 海水浴入込客数を観光入込調査結果により算定する。 (過去3年平均の海水浴客数を算出する)	948千人	948千人	948千人	

全体事業費	合計 (A+B+C)	5,480百万円	A	5,416百万円	B	0百万円	C	64百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.2%
-------	------------	----------	---	----------	---	------	---	-------	------------------------	------

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
計画策定主体の千葉県が独自で実施。(※学識経験者等の第三者の意見は求めている。)	平成29年3月
	公表の方法
	千葉県ホームページに掲載。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業												全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)						
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	北九十九里海岸高潮対策事業	ヘッドランド工	旭市						500	
1-A1-2	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	野手海岸高潮対策事業	ヘッドランド工、護岸工	匝瑳市						790	
1-A1-3	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	千倉海岸高潮対策事業	護岸工	南房総市						20	
1-A1-4	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	東条・広場東海岸高潮対策事業	堤防工	鴨川市						164	
1-A1-6	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	浦安海岸高潮対策事業	護岸工、堤防工	浦安市						910	
1-A1-7	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	市川海岸高潮対策事業	護岸工	市川市						1,360	
1-A1-8	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	侵食	—	一宮海岸侵食対策事業	ヘッドランド工、養浜工	一宮町						1,470	
1-A1-5	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	侵食	—	館山海岸侵食対策事業	突堤工	館山市						60	
1-A1-9	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	環境	—	富山海岸環境整備事業	養浜工、突堤工	南房総市		●●●●●				16	H23: 地域自主戦略交付金
1-A1-10	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	環境	—	南九十九里海岸環境整備事業	養浜工	九十九里町・大網白里町・白子町・長生村・一宮町		●●●●●				46	H23-24: 地域自主戦略交付金

1-A1-11	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	君ヶ浜海岸～西明海岸高潮対策事業	堤防工	銚子市						20	
1-A1-12	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	太東海岸～日在浦海岸高潮対策事業	堤防工	いすみ市						20	
1-A1-13	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	鶴原二号海岸～守谷海岸高潮対策事業	堤防工	勝浦市						20	
1-A1-14	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	高潮	—	館山海岸高潮対策事業	堤防工	館山市						20	
合計																5,416	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
1-C1-1	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	—	海岸高潮対策事業	津波シミュレーション	県内沿岸全域							64	
合計																64	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
1-C1-1	津波災害の防止・軽減のため、A1基幹事業の高潮対策事業のハード対策と共に、ソフト対策を組み合わせた「多重防御に津波防災地域づくり」を推進し、人命への被害を極力軽減する。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		・海岸利用者や地元関係者との合意形成に時間を要し、目標を達成することができなかったが、海岸保全施設（護岸・堤防等）の整備を促進し、浸水防護面積の拡大が図れた。															
II 定量的指標の達成状況	指標①（施設が完成した背後地の浸水防護面積）	最終目標値	950ha	目標値と実績値に差が出た要因	・海岸利用者や地元関係者との合意形成に時間を要したため。												
		最終実績値	912ha														
	指標②（砂浜のある海岸線延長）	最終目標値	900m	目標値と実績値に差が出た要因	・地元関係者と養浜材の調整を行ったところ、泥分が多く底生物や自然環境等に対する懸念が示され、養浜を実施できなかったため。												
		最終実績値	0m														
	指標③（海水浴入込客数）	最終目標値	948千人	目標値と実績値に差が出た要因	・砂浜のある海岸線延長が拡大ができず、加えて東日本大震災の影響で全県的に海水浴入込客数の低下もあったため。												
		最終実績値	634千人														
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）																	

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・地元関係者の了解が得られる養浜材として、泥分が少ない漁港や河川の浚渫土を活用して、養浜を実施する。
また養浜材が最大限確保できるように漁港管理者や河川管理者と調整を行うとともに、モニタリング調査を行い環境面への影響を確認しながら養浜量の拡大に努める。

